第29回 海岸クリーンアップ

Let's clean the beach!

1997年の「ナホトカ号重油流出事故」をきっかけに毎年実施。

1 **9月5日(土) 9:00~10:00**
鷹巣海水浴場

2 **9月12日(土) 9:00~10:00**
三国サンセットビーチ

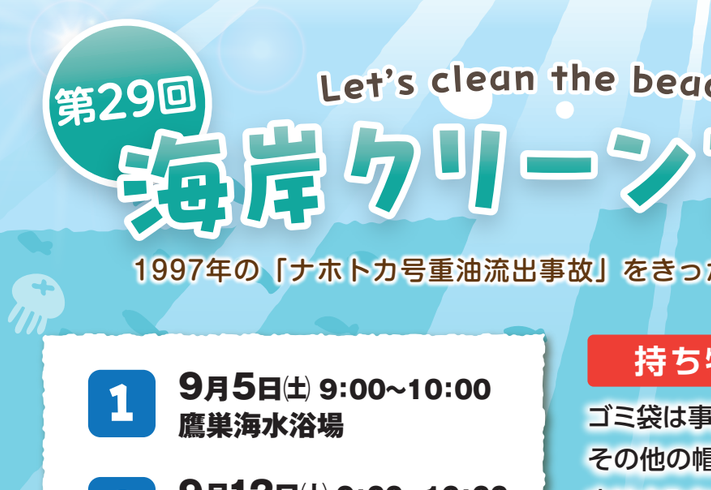
New 3 **9月26日(土) 9:00~10:00**
水晶浜海水浴場
三方郡美浜町竹浪

持ち物

ゴミ袋は事務局で用意します。
その他の帽子・軍手・汗拭きタオル・
火はさみなどは各自ご用意ください。

※悪天候により、事前に中止を決定する場合があります。その際はホームページに中止のご案内を掲載いたしますので、ご確認ください。

※行事保険に（事務局負担で）加入します。





ボランティア 募集



お申し込み・お問い合わせは
福井県生協連合会まで

福井県生活協同組合連合会機関誌

ふくいの生協

福井県生活協同組合連合会
〒910-0842 福井市開発5丁目1603番地（県民生協本部センター内）
TEL0776-52-8815 FAX0776-52-2050　Eメールアドレス kenren@fukuicoop.or.jp

2026年8月7日 No.152

http://www.fukui.coop/kenren/　福井県生協連合会　検索

県連総会 6月4日(木)

福井県教育センター4階大ホールにおいて、第51回福井県生活協同組合連合会通常総会を開催しました。当日は、福井県防災安全部副部長 増田英一氏に来賓としてご出席を賜り、ご祝辞をいただきました。吉岡史郎副会長理事の開会宣言の後、福井県民生協の窪田美佳代議員が議長として選任され、続いて理事会を代表して檜原弘樹会長理事が挨拶し、以下の全議案が可決承認されました。



可決決定された議案

第１号議案　2025年度活動報告・決算報告及び剰余金処分案承認の件
第２号議案　2026年度活動方針及び収支予算決定の件
第３号議案　役員補充（理事１名）選任の件





専務理事として７年にわたりお骨折りをいただきました織田良氏が退任され、新たに専務理事として内麻良恵氏が選任されました。織田氏のこれまでのご尽力に心から感謝を申し上げます。

今年度の役員体制は下記の通りです。

2026年度 新役員体制（敬称略） 理事9名　監事2名

会長理事	檜原 弘樹	（福井県民生協　専務理事）
副会長理事	吉岡 史郎	（福井県庁生協　専務理事）
副会長理事	橋谷 和憲	（福井県学校生協　専務理事）
専務理事	内麻 良恵	（福井県民生協　組織ネットワーク支援部　部長）
理事	佐野　誠	（福井県医療　専務理事）
理事	坂　浩	（福井県労済生協　専務理事）
理事	新田 大地	（福井大学生協　専務理事）
理事	塩野 孝弘	（菅浜生協　理事長）
理事	中川 敦士	（福井県民生協　専務理事）
監事	北山 順治	（福井県学校生協　部長）
監事	梅津 良一	（菅浜生協　監事）







引き続きくらしを守る視点を大切にし、行政や他団体との連携を強め、地域社会の課題解決やSDGｓへの貢献など、公益的な役割を果たし、また、会員生協のさまざまな取り組みの紹介を積極的に発信していきます。
今後とも、より一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげ、ご報告とさせていただきます。

この広報は再生紙を使用しています

2026年 会員生協総代会・活動報告

第49回通常総代会

2026年6月27日(土)
武生商工会議所
ホール

福井県医療生協

多様な参加と協同で医療生協の魅力を「知ってもらう」取り組みを広げ、誰もが健康で居心地よくくらせるまちづくりをすすめよう!

武生商工会議所で、第49回通常総代会を開催しました。冒頭のあいさつでは、天津理事長が「私たちの力で暮らしや命、健康と平和を守り抜きましょう」と力強く呼びかけました。

2025年度の活動や事業報告と決算に加え、2026年度の活動方針案を討議しました。総代定数177名中128名の参加と、書面議決書45名の提出で、全議案が賛成多数で可決承認されました。総代6名の報告では、坂井町支部が立ち上げたこども・おとな食堂の「いこい茶屋」や、通信教育の学習、事業所から離れた場所でもできる生協活動、組合員ルームだん・だんの活動、医療生協らしい班づくりについて意見が出されました。

今年の方針には気候危機や平和、健康を守る取り組みを提起していることもあり、地域の声に応えていきながら、健康づくりなどの活動を進めていきます。



第69回通常総代会

2026年6月23日(火)
福井県教育センター
4階 大ホール

福井県学校生協

第69回通常総代会を開催しました

2026年6月23日(火)、福井県教育センター4階大ホールにて、第69回通常総代会を開催しました。出席総代40名、理事17名、監事4名、来賓4名、合計65名(書面議決書61名分)を得て開催し、次の議案を承認いただきました。

第1号議案 令和7年度事業報告及び決算関係書類承認の件
第2号議案 役員選任の件
第3号議案 令和8年度事業計画及び予算決定の件
第4号議案 役員報酬決定の件
その他報告 所在不明組合員等のみなし自由脱退について

2026年度 基本課題

私たちは、学校に関わる全ての人々を組合員とする職域生協であり、組合員の仕事や生活をサポートするためのライフパートナーをめざします。組合員の要望の実現と安全で安心できる教育環境の確保に努めます。

1【組織】 新採用者や未加入者へ、学生協の良さを伝え、理解することで組合加入率を上げ、組合員の学生協利用満足度を把握し、満足度を高め利用促進を図っていきます。

2【事業】 多様化する情報社会の中、組合員のニーズに寄り添った事業の拡大に取り組みます。

3【教育支援】 児童・生徒への出前授業等を通じて、組合員を多面的にサポートします。

4【経営】 組合の組織・事業・経営を見直し、基盤整備を行います。

5【連帯・社会貢献】 関係団体と連携・協力を図り、災害支援等の地域貢献・社会貢献活動に取り組みます。



第69回通常総代会

2026年6月24日(水)
福井県教育センター
4階 大ホール

福井県庁生協

第69回通常総代会を開催しました

県庁生協第69回通常総代会は、6月24日(水)午後3時から、福井県教育センターにおいて、本人出席18名、委任状36名、書面議決35名、合計89名(総代総数120名)の出席を受け開催されました。土田理事長の挨拶の後、ご来賓を代表して福井県防災安全部の増田副部長様からご祝辞をいただきました。次に坂本康一総代(生活学習館)を議長に選出して議事が進められ、事務局から提案された各議案はすべて可決承認されました。

いわゆるコロナ禍以降、在宅勤務やオンライン会議、ネット通販の拡大など、DX化に伴う新しい働き方や購買行動が定着し、生協経営をめぐる環境は厳しさを増しています。事業活動計画では、若手職員の生協離れや供給高の減少に歯止めがかからない中、生協加入者の拡大や不採算店舗の見直しなどについて組合員の理解を求めました。

2026年度は、第10次中期経営計画のスタートの年となります。母体である福井県や県庁職員組合と連携し、県職員の生活の維持向上を図り、福利厚生の一翼を担うという大きな使命を果たすべく、各種事業や組織風土の改革に取り組んでいきます。



第72回通常総代会

2026年5月28日(木)
福井大学 文京キャンパス
教育系1号館 大1講義室



福井大学生協

第72回通常総代会を開催しました

総代選出数108名のうち、本人出席43名、書面出席37名、合計80名に出席いただきました。総代会では4つの議案が提案・議論され、採択の結果、すべての議案が圧倒的多数で可決されました。

2025年度は組合員への寄り添いと暮らしの向上を通じて、わくわくするキャンパスと魅力ある大学づくりへの貢献を目指して事業と活動を行ってきました。新入生・保護者への入学サポートは特にこだわり、先輩学生組合員と一緒に取り組みを行いました。その結果、2025年度入学者の生協加入率は98.5%、学生総合共済の付帯率は75.4%となり、多くの新入生をたすけあいの輪に迎え入れることができました。

店舗事業では、キャンパス間で利用の差が大きく出ています。文京キャンパスでは利用者数も供給高も伸長しており、組合員の利用が拡大しています。一方、松岡キャンパスでは利用減少が続いています。どちらのキャンパスにおいても、原価や事業経費の高騰で厳しい情勢でしたが、最終的には、2年連続の黒字で終えることができました。

2026年度に向けては、「わくわくするキャンパスをみんなでつくる」を目標として掲げ、新学期の事業と活動を維持・伸長させながら、組合員のより良い暮らしと学びに根差して、両キャンパスでの利用拡大を目指すことを確認しました。





第48回通常総代会

2026年6月18日(木)
フェニックス・プラザ
エルピス大ホール


採決の様子



福井県民生協

第48回通常総代会を開催しました

6月18日(木)福井市のフェニックス・プラザ エルピス大ホールにおいて、第48回通常総代会を開催しました。実出席総代182人、書面議決書による出席300人、合計482人(採決時)の出席により、第1号議案から第4号議案の全議案が賛成多数で可決承認されました。

檜原理事長あいさつののち、来賓を代表して福井県武部副知事と福井市西行市長よりご挨拶をいただきました。議事では議案を中川専務理事より提案し、6人の総代から発言をいただきました。

議案	
第1号議案	2025年度事業報告・決算関係書類等承認の件
第2号議案	2035年ビジョン・第11次中期計画決定の件
第3号議案	2026年度事業計画及び予算決定の件
第4号議案	役員報酬決定の件


▲福井県武部副知事ごあいさつ


▲福井市西行市長ごあいさつ


▲檜原理事長あいさつ


▲中川専務理事　議案提案

活動報告

菅浜生協

老人部77名による公共施設の除草作業を実施しました

7月5日(土)、菅浜区内の多目的広場(生協店舗周辺)、須可麻神社他の除草を実施しました。

当日は、早朝より真夏日でしたが熱中症防止のため、7時30分に開始し、約2時間の作業で無事終えることができました。

老人部による除草作業は年2回実施しており、加えて、海水浴シーズンには、5~6名の班で、海岸のクリーンアップを5回実施しています。訪れた海水浴客のみなさんからは、白くきれいな砂浜に感激の声を頂いています。

理事による焼きサバ

今年も、「大野・半夏生の焼きサバ」に倣って理事5名による焼きサバの注文販売を行いました。「夏バテ防止」と銘打って組合員に予約を募ったところ、多くの注文がありました。

今年はノルウェー産冷凍サバが30%の値上げとなり、菅浜生協でもやむなく15%値上げしたにも関わらず、昨年と同等の注文数でした。

気温30度超えの当日、「夏バテ防止」の焼きサバを焼くため、炭火の前で理事が「夏バテ」にならないよう注意しながら無事焼き終え、組合員から「旨かった」との声を頂き、理事一同大満足でした。

今後も、組合員サービスの充実を図っていきます。



福井県労済生協同組合 2026年度推進活動計画を5月の地区推進委員会(県下3会場)で討議しました

福井県労済生協

1. 2026年度推進活動計画

<推進活動計画の実践にむけた基本的な方向性>

(1) 新たな生活保障設計運動
(2) CX・EXの創造・実践
(3) デジタルをベースに推進拠点と組合員サポート拠点が一体となった推進
(4) 社会課題の解決にむけた取り組みと連動した推進
(5) 保険業法改正を踏まえた共創パートナー団体との新たな推進構築(共創事業)

<重点課題>

(1) 保障点検・見直し活動の強化
マイカー共済、自賠責共済、住まいる共済を中心に組合員のライフスタイルや家族構成の変化に合わせた保障(補償)内容の点検・見直しを進め、安心できるくらしづくりを支援します。

(2) 福利厚生と資産形成支援の充実
団体生命共済や新団体年金共済の推進を通じて、福利厚生制度のさらなる充実を図るとともに、組合員の資産形成ニーズに応じた提案活動を展開します。

(3) デジタル活用と共創事業の推進
公式アプリやセット共済WEBシステムの利用拡大、AIを活用した来店者対応などデジタル化を進めるとともに、労働金庫、生協、自動車分解整備事業者との連携を強化し、組合員サービスの向上を図ります。

(4) 地域社会への貢献活動
交通安全、防災・減災活動など社会課題の解決に向けた取り組みと連動しながら、こくみん共済coopの認知向上とファン拡大を進め、地域に根差した活動を展開していきます。

2. 2025年度 地域貢献活動報告

労福協と防災・減災フェアを開催し、自然災害への備えの重要性を広く呼びかけるとともに、防災意識の向上と保障点検活動の強化に取り組みました。さらに、福井ブローウィンズとのパートナーシップを活用し、冠試合や「防災バスケ」を実施するなど、地域住民や子どもたちが楽しみながら防災を学べる機会を提供しました。これらの活動を通じて、地域とのつながりを深めるとともに、防災・減災意識の向上と安心して暮らせる地域社会づくりに貢献しました。



福井県生協連合会の総代会は、7月30日に開催されました。次号に掲載します。